

表4-1

学科、専攻の開設授業科目における専兼比率

学科・専攻			必修科目	全開設授業科目	
短期大学部	両学科共通	専門教育	専任担当科目数(a)	6.80	36.40
			兼任担当科目数(b)	2.20	13.60
			専兼比率 ( $a/(a+b)*100$ )	75.56	72.80
		教養教育	専任担当科目数(a)	1.00	32.00
			兼任担当科目数(b)	3.00	54.00
			専兼比率 ( $a/(a+b)*100$ )	25.00	37.21

- ① 学科のみを記載すること。
- ② 実働している科目数のみを記載すること。卒業要件の可否は問わない。募集停止している学科、専攻も、学生が在籍している場合は記載すること。
- ③ 「専任担当科目数」欄は、他学科等の専任教員による兼任科目も含めること。
- ④ 「専門教育」欄及び「教養教育」欄は、短期大学の設定する区分に応じて名称を記載すること。
- ⑤ セメスター制などを採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合は、学期ごとに作表すること。
- ⑥ 複数の学科、専攻等にまたがる場合は、共通の欄を新たに設けて記載すること。
- ⑦ 同一科目を週複数回実施している場合、同一教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、兼任教員が担当する場合は、兼任担当科目数が1となる。  
複数教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当する場合は、専任担当科目数が0.5、兼任担当科目数が0.5となる。（例：一科目で4クラスに分かれ、兼任が2クラス、専任が2クラス担当する場合、専任0.5、兼任0.5）
- ⑧ 実験、実習等一つの科目を兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること。（例：専任4人、兼任1人で担当の場合、専任0.8、兼任0.2）
- ⑨ 小数点以下の端数について、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記載すること。